

リフティングツール

3. 2 t o n

取扱説明書



アールアイ株式会社

埼玉県川口市本蓮4-3-45

T e l : 0 4 8 - 2 8 0 - 5 5 0 5

F a x : 0 4 8 - 2 8 0 - 5 5 1 0

URL:<http://www.r-.jp>

本書記載の図の形状及び寸法は、現品と多少異なる場合があります。
また、仕様・寸法・材質などを変更する場合がありますので、あらかじめ
ご了承下さい。

リフティングツール
をご使用になる前に、必ず
お読みください。

リフティングツール（以下つり具という）の使い方を誤ると、つり荷の落下などの危険な状態になります。

ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使いください。
つり具を購入され使用される事業主はもとより、作業される方に「クレーン等安全規則」「貴社の作業基準」などを教育し、作業される方が、つり具の知識・安全の情報・そして注意事項のすべてについて習熟されたことを確認の上、作業に従事させてください。「玉掛け安全協議会」では、この取扱説明書に使用する注意事項を「危険」「注意」の2つに区分しています。

お読みになった後は、お使いになる方が、いつでもご覧になれるところに必ず保管してください。

⚠ 危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が
起こりえて、死亡または重傷を受ける可
能性が想定される場合。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が
起こりえて、中程度の障害や軽症を受け
る可能性が想定される場合、および物的
損害が想定される場合。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び
つく可能性があります。

いずれも、重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。

目次

安全上の注意	1
もくじ	2
1. 取扱い全般について	3
2. 作業前の確認について	3
3. 使用方法について	4
4. クレーン操作について	4
5. 保守・保管・改造について	5
6. 概要	6
7. 仕様	6
8. 構成材料	6
9. 特長	6
10. 概算寸法図・名称	6
11. 取り扱い	7
荷重曲線図	8
12. 保管	9

1. 取り扱い全般について

これより、取り扱いについて記載しますが、全てを網羅することはできないため記載されていない事項については、使用できないと考えてください。

⚠ 危険

- 取扱説明書、及び、注意銘板の内容を熟知していない人は使用しないでください。
- 法定資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないでください。
(クレーン等安全規則第 221 条・第 222 条)
- つり上げ運搬中は、つり荷の落下・転倒範囲内・吊り荷着床位置近辺に立ち入らないでください。
(クレーン等安全規則第 28 条・第 29 条)
- 吊り荷重は制限荷重以内で使用して下さい。過荷重になるとバランスを崩して取り扱いが危険です。(制限荷重 3 2 0 0 k g)
本体側面に表示されている▲赤色のインジゲータが吊り金具で隠れる範囲にて吊下げるようにして下さい。
- 吊り荷の着床前には、バランスウエイトの動きに注意して荷下ろし操作をして下さい。特に足下に注意する。
- 車輪部のみが着床したままで作業を行う時は、動きに十分注意して必要に応じて車輪止めなどで固定をして下さい。
- 作業開始前の点検や定期点検を必ず実施して下さい
(クレーン等安全規則第 217 条・第 220 条)

2. 作業前の確認について

⚠ 危険

- 操作に必要な教育を受けていない人には、使用させないでください。
- つり具に変形・き裂・作動不良・ボルト、ナットの緩み・脱落等のあるものは、使用しないでください。
- つり荷の玉掛け部に変形・き裂のあるものには、使用しないでください。
- 天候の情報には充分留意し、強風・雷・大雨等のときには使用しないでください。
- 高所作業は、作業責任者の指揮にしたがってください。
- つり荷の玉掛け部の形状は、つり上げ荷重に充分耐えうる強度を有すること。
- つり荷のつり荷重が、使用するつり具の基本使用荷重の許容範囲内であること。(制限荷重 3 2 0 0 k g)
- 玉掛け作業に従事される人は、玉掛け作業に適した服装をしてください。

⚠ 注意

- つり具に取り付けられた注意タグ、又は 注意銘板を取り外したり、不鮮明なまま使用しないでください。
- 環境の条件が次の場合は、つり具を使用しないでください。
 - ・ つり荷の温度が 150℃以上の高温、及び -20℃以下の低温。
 - ・ 酸・アルカリ等の溶液中、及び 雰囲気中。

3.使用方法について

⚠ 危険	
<ul style="list-style-type: none">● 1点つり（片側つり）でつり具を使用しないでください。● 被つり上げ物の上に乗ったり、被つり上げ物の上で作業することは絶対にしないでください。● つり具で鋼矢板の引き抜き等には使用しないでください。● 荷の吊り上げ時には、絶対に横引きしないでください。● 吊り金具と本体との接触部に異物（木片や金属棒など）を挟み込まない様に注意してください。この様な状態になると吊り荷とバランスウエイトとの吊り合いがとれなくなって吊り荷が不安定になり、またオーバーロードで荷吊りになる事があり、危険です。	
⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none">● 荷を吊って地切りする際にゆっくりと吊り上げて下さい。急激に吊り上げるとつり具の姿勢が不安定になり荷振れを起こします。● つり具を倒したり、引きずったりしないでください。● つり具を使用中は、つり荷に溶接作業を行わないでください。●	

4.クレーン操作について

⚠ 危険	
<ul style="list-style-type: none">● つり具の基本使用荷重を越えるつり荷は、絶対につり上げないでください。● つり荷やつり具に衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないでください。● つり具で地球つりをしないでください。● つり荷は、人の頭上を越えて運搬しないでください。● つり荷の昇降作業時は、つり荷を振らせないでください。● 運転中は、気をそらさないでください。● 着地前に一旦停止し、つり荷の傾き、転倒、及び着地場所とその周辺の安全確認を行ってください。	
⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none">● つり具でつり荷をつつたまま、クレーン(巻き上げ装置等)の運転位置から離れないでください。● クレーンの巻き上げ・巻き下げは、静かに丁寧に行ってください。● つり具を使用しないときは、決められた平坦な着地場所に置いてください。	

5.保守・保管・改造について

⚠ 危険

- つり具、及び 付属品の改造は絶対にしないでください。
- つり具、及び 付属品に溶接・加熱等を行わないでください。
- 当社製純正部品以外は、絶対に使用しないでください。
- 修理が必要なつり具は、別の場所に保管し、誤って使用されないようにしてください。
- 保守点検・修理等を行う場合は、事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 保守点検で異常があったときは、そのまま使用せずただちに補修、又は、廃棄してください。
- 保守点検を行う場合は、必ず、つり具を安定した場所に着地させ、周囲の安全を確かめた上で行ってください。

⚠ 注意

- 保守点検・修理等を行う場合は、必ず空荷(つり荷がない)の状態で行ってください。

6. 概要

リフティングツールは、クレーンによる建物への資材などの取り込み・取り出しなどの作業を、クレーンのオペレータや荷役作業員の技量と努力に依存することなく、比較的簡便に取り扱う事ができる簡易なつり具です。

荷吊り作業時に付属するバランスウエイトが巧みに作用して吊り荷と平衡しながら建物の外部から建物内部に吊り込むことができる機能を備えています。

また、地切りの際には、バランスウエイトが下部に取り付く車輪によって自動的に吊り荷と平衡する位置まで床面（地面）を無理なく移動して平衡した姿勢になってから地切りされる様になっております。

7. 仕様

最大吊り荷重	3 2 0 0 k g f
標準総質量	3 5 4 5 k g f

8. 構成材料

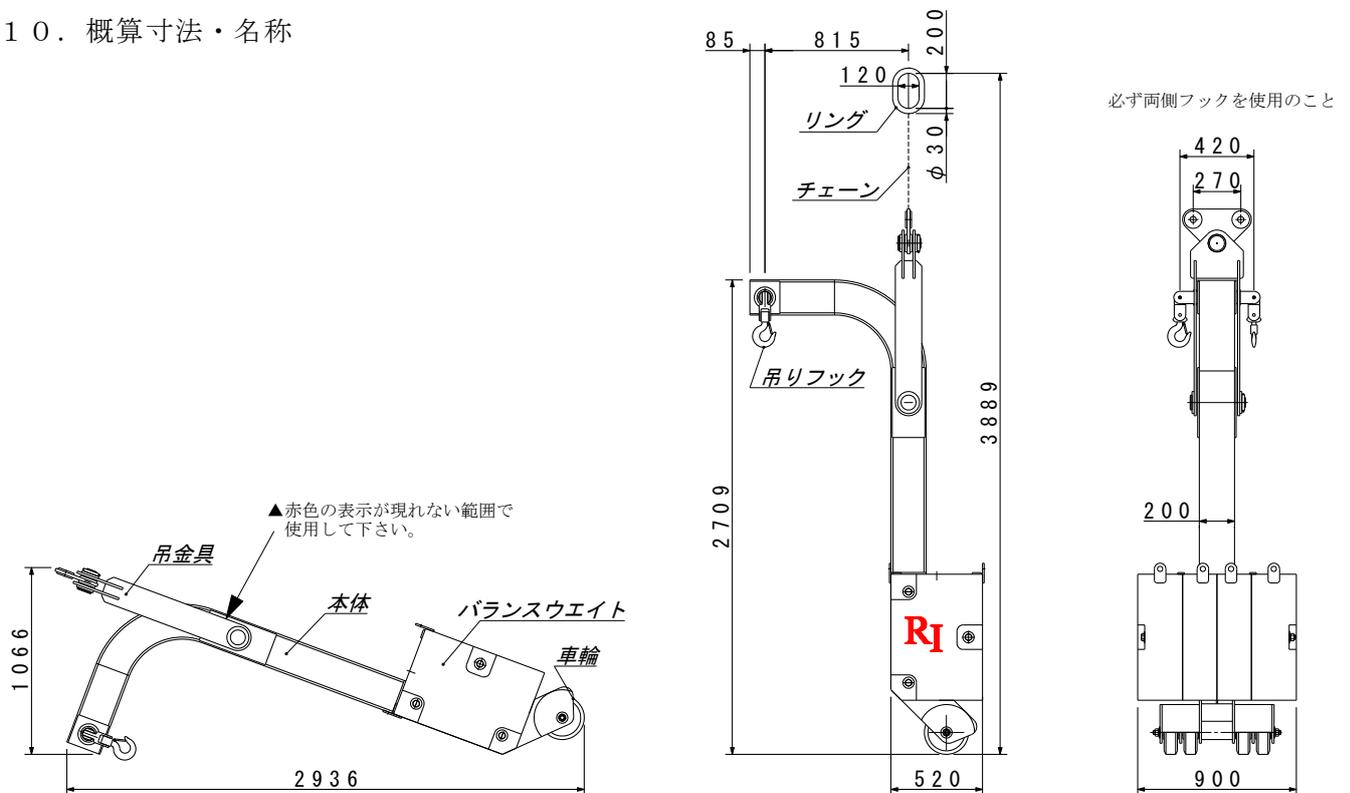
リフティングツールは、本体並びに吊り下げ金具を一般圧延構造炭素鋼材の型钢と鋼材とで形成され、鉛製のバランスウエイトが付属されています。

9. 特長

リフティングツールは、次の様な利点を有しています。

- ◆ 横引きなしで資材を取り込み取り出しが可能です。
- ◆ 建物の手摺りなどを越えて資材を取り込み取り出しが可能です。
- ◆ 吊り荷をバランスさせて揚降できるので吊り荷の安定が確保できます。
- ◆ 床上での玉掛け作業時、バランスウエイトに付属の車輪によって平衡位置まで移動し傾斜するので、玉掛けワイヤーの掛け外し作業が容易です。

10. 概算寸法・名称



1.1. 取り扱い

- 1) 使用するクレーンフックがリフティングトールのリングに入るか確認して下さい。
- 2) 吊り荷に玉掛けして、この玉掛けワイヤーは、必ずリフティングトールの先端両側のフック（2点にて）にそれぞれ取り付けて、ゆっくりと吊り上げて下さい。

⚠危険

玉掛けワイヤーは、必ず両方のフックにかけて吊り上げて下さい。

その時、バランスウエイトに付属の車輪のみ地面に接している場合は、十分に車輪の動きに注意して下さい。

- 3) つり具を引き上げると、吊り荷と平衡する位置までバランスウエイトが車輪によって吊下げ中心に近づき、吊り合った姿勢で地切りする。

⚠危険

十分に車輪の動きに注意して下さい。

本体側面に表示されている▲赤色のインジゲータが吊り金具で隠れる範囲の吊り荷の重量にて使用して下さい。▲赤色のインジゲータが現れるとオーバーロードです。

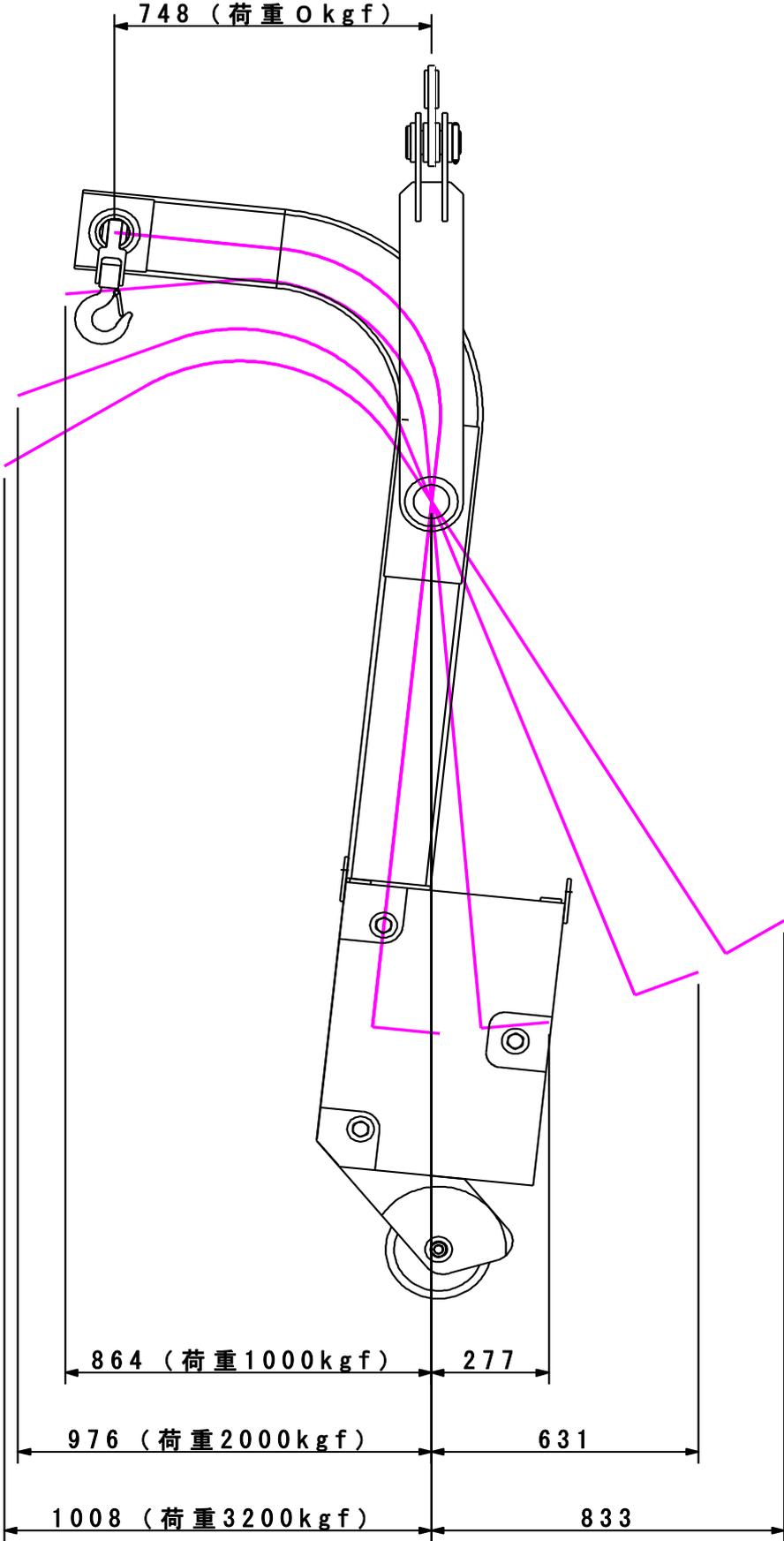
- 4) 吊り上げられると写真のような形で吊り荷を搬送できます。

⚠危険

吊り荷の下や吊り荷、着床位置の付近に人が立ち入らないように注意して作業して下さい。また、吊り荷やバランスウエイト（車輪）の動きに注意して下さい。



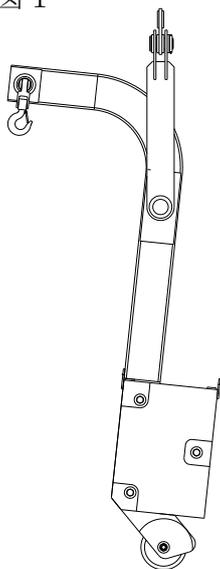
荷重曲線図



1 2. 保管

つり具を使用しない時は、平らの敷き鉄板やコンクリートの上に本体がへの字のような格好になるように、先端のフックを当てないようにして保管して下さい。

図 1



立て掛けるような保管方法ですとバランスを崩して転倒する危険がありますので十分注意して下さい。

車輪、着地時図 1 の様にウエイトが前に出ようとしていますので車輪止め等でおさえて図 2 の様に保管して下さい

⚠危険

バランスウエイト（車輪）の動きに注意して下さい。



車輪止め

図 2

